

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人 パシフィックフィルハーモニア東京
公演団体名	パシフィックフィルハーモニア東京

内容
<p>指導者による楽器紹介と独奏、小アンサンブル ピアノー人+ヴァイオリン一人+クラリネット(またはフルート)+トランペット(またはホルン)他 各楽器の詳細な説明に加え、希望者には当団持参の楽器で実際に音を出してもらい、ミニレッスンも致します。その結果、少しでも生徒さんがオーケストラを理解し、身近に感じられるよう、真心を込めて対応します。アンサンブルはピアノ伴奏による各楽器の独奏に加え当日の楽器構成にて可能なアンサンブルをお届けします。(約25分) →濃厚接触を避けるため、ミニレッスンはなしに。</p> <p>ダンス de ボディパ! 現在流行りの《パプリカ》を題材にして、歌いながら簡易な振り付けで踊り、その合間にボディパーカッションを加えていきます。誰でも簡易に覚えられ、かつ積極的に嬉々として踊りにも参加してくれるよう、プロのダンサーに振り付けを依頼し、所々に流行りのボディパーカッションを入れていきます。当団の企画は、小学生の低学年も、また通常あまり積極性のない中学生の皆さんをも自然に巻き込む、思わず浮き浮きするようなアクションも組み込まれており、当日の本番では笑顔で生き活きと参加してくれる姿が目に見えます。(約50分~60分) →感染対策中の場合は歌わずに踊りのみに。</p>

タイムスケジュール (標準)			
午前の場合		午後の場合	
学校到着	09:00	学校到着	13:00
ワークショップ	09:30~11:30	ワークショップ	13:30~15:30
退校	11:45	退校	15:45

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください ヴァイオリン奏者1名、木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、 ピアニスト1名、ダンス指導者1名、スタッフ1名	合計 6名
--	-------

学校における事前指導
発声練習、歌の練習→なし 振付の練習 質問事項の取りまとめ

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人 パシフィックフィルハーモニア東京
公演団体名	パシフィックフィルハーモニア東京

演目
オッフェンバック／喜歌劇《天国と地獄》序曲 7分 《楽器紹介コーナー》 13分 ・弦楽器アンサンブル: ヴィヴァルディ／《四季》～「春」第1楽章 3分 ・木管楽器アンサンブル: チャイコフスキー／《白鳥の湖》～「4羽の白鳥の踊り」 2分 ・金管楽器・打楽器アンサンブル: アメリカ民謡／「聖者の行進」 2分 グリーグ／《ペールギュント組曲》～「朝」 4分 《バレエ音楽の違いを聴き比べてみようコーナー》 ・チャイコフスキー／バレエ音楽《白鳥の湖》～「情景」 4分 ・ハチャトゥリアン／バレエ音楽《ガイーヌ》～「剣の舞」 3分 休憩(15分)
→休憩時の楽器体験はなくし、会場の換気を行う時間といたします。
アンダーソン／トランペット吹きの日 4分 《生徒さんとの共演コーナー》 ダンス de ボディパ! : パプリカ 5分 《指揮者コーナー》 生徒さん全員に指揮の簡易指導後 8分 (ベートーヴェン／交響曲第5番《運命》第1楽章冒頭部 (生徒さん3名)) ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」第1楽章 6分 《日本の民謡を日本の伝統楽器と一緒に》 外山雄三: ラプソディより「八木節」 5分 アンコール: 校歌／オーケストラ編 3分

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください	
指揮者	1名
司会者	1名
オーケストラ演奏者	58名
スタッフ	5名
合計	65名

タイムスケジュール (標準)	
楽器搬入・舞台設営	08:00～10:30
共演を含めたりハーサル	10:30～12:30
本公演	13:30～15:00
撤収・楽器搬出	15:00～17:00

実施校への協力依頼人員

ステージ周辺の整理、椅子出し、控室などの事前準備が完了していれば、当日は特にお手伝いは必要ありません。

学校側との連絡係として、ご担当の先生1~2名をお願いいたします。

演目解説

<オープニング>

聴き馴染みのある曲で華やかに開幕です。喜歌劇《天国と地獄》序曲を演奏。クラリネットやヴァイオリンの独奏もあり、最後は誰でも知っているカンカン踊りで楽しくコンサートが始まります。

<楽器紹介コーナー>

弦楽器、木管楽器、金管楽器それぞれの奏法の極意を実演と解説によって解き明かし、その後各楽器群のアンサンブルをお聴きいただきます。

<バレエ音楽コーナー>

演奏の前に、バレエ上演ではオーケストラはオーケストラピットと呼ばれる舞台と客席との間のスペースで演奏することや、“幕が開くと暗〜い森の中の湖の上に……”等、生徒さんの頭の中にその情景をイメージしてもらってから演奏します。2曲のバレエ音楽を聴き比べていただき、同じ大勢で踊るバレエ音楽でもその大きな違いを実感してもらいます。

<アンダーソン／トランペット吹きの日>

オーケストラの楽器の中でも特に人気のあるトランペットが大活躍する曲をお聴きいただきます。

小学校の鑑賞教材として取り上げられているため、誰もが知っている名曲ですが、超絶技巧のため演奏が難しいことでも有名な曲を、3人のトランペット奏者がプロの技を駆使していても簡単に楽しげに演奏する姿に、生徒さん達の目が釘付けになるでしょう。

<生徒さんとの共演コーナー>

ワークショップで練習していただいた「パプリカ」を、皆で元気に楽しく歌い、ダンスしながらボディーパーカッションしていきます。ワークショップに参加していない生徒さんにも、すぐに覚えられる簡易な部分をその場でレクチャーし、一緒に参加していただきます。→歌わずにダンスのみで。

<指揮者体験コーナー>→指揮者・司会者及び参加生徒はマスク着用で非接触にて行います。

最初に当団指揮者が生徒全員に指揮の基本を指導します。基本を無視した場合の失敗例をオーケストラで実演、生徒さんの笑いの中にも指揮の厳しさと重要性を認識してもらい、その後3名の生徒さんにベートーヴェン／交響曲第5番《運命》第1楽章冒頭部を指揮してもらいます。生徒さんだけでは上手くいかなかった所が、指揮者のアドバイス後に見事に成功する姿に生徒さんたちからは驚きが。その後、次のコーナーで当団指揮者が難曲を見事に棒1本でさばいて見せる姿が、手本となるでしょう。

<本格的なクラシック音楽の名曲>

クラシック音楽の中で最も有名な、ベートーヴェンの交響曲第5番《運命》の第1楽章の演奏をお聴きいただけます。ベートーヴェン自身の難聴への絶望の苦悩から、前向きな生きるエネルギーに溢れる音楽は、勇気と希望を与えてくれます。

<日本の伝統音楽>

日本の民謡を、日本の伝統楽器を使って誇り高く賑やかに！夏祭りで大活躍の大きな「や

ぐら太鼓」、甲高く響く小型な硬い木片「木証(もくしょう)」、チンドン屋で活躍する小さな丸い金属「チャンチキ」、や「拍子木」、邦楽で活躍「締め太鼓」等、楽しく解説。お祭りのハッピーを着た打楽器奏者が、見栄え良く楽しく民謡をリードしていきます。

<アンコールに校歌の演奏>

校歌を事前にオーケストラバージョンに編曲し、最初にオーケストラのみで1回演奏します。日頃とは全く異なる壮大な曲に変身した姿に生徒さんも先生方も大感激でしょう！その後、オーケストラの伴奏で高らかに歌っていただきます。→歌わずに鑑賞のみで。

事前に録音した校歌のCDを、最後に当団から学校に贈呈して公演は終了します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

「パプリカ」を全員で歌いながら、ワークショップに参加の生徒さんをお手本に、すぐに覚えられる簡易な部分をその場でレクチャーし、一緒にボディーパーカッションに参加していただきます。

「指揮者コーナー」では生徒さんの指揮にオーケストラがどのように反応するか、皆さんに体験してもらいます。指揮をするのは3人だけですが、指揮の手ほどきは全員合同で行います。

また校歌も、演奏だけではなく一緒に歌っていただきます。各学校の先生や生徒さんの指揮も大歓迎です。

* 歌う部分は全てなしで、ダンスまたは鑑賞のみで。

児童生徒とのふれあい

クラシックのコンサートではありますが、手拍子や簡単なボディーパーカッションなどを随所に取り入れることにより、親しみやすさや一体感を感じていただけるようにいたします。

また、休憩時には体験用楽器を用意し、各楽器の奏者が指導に当たり、児童・生徒さんに実際の演奏体験をしていただくこともできます。またチューバやハーブを、興味を持つ子供たちの間近で体験できる工夫もいたします。

→こちらは取り止めとし、会場の換気をする時間といたします。